



ぽっかぽか 11月 ひよこ組



朝夕は冷たい風も吹き、寒さを感じる瞬間も増えてきましたね。晴れている日には、長久保公園や屋上園庭に出たり、ホールではお友達やボールを追いかけたりと、たくさん身体を動かしています！

室内では、ポトリンコを繰り返し遊ぶ姿が見られるようになり、初めは大人が見せて知らせていた蓋の開閉も、自分で開けたり、向きを変えながら閉めてみようとしたり…。そんな『自分で』の瞬間が、日常の中で格段と増えてきました。そこで、クラスでは子どもたちのやりたい気持ちを大切にしながら『自分で出来た』という喜びを増やすサポートをしています。その中から、今回は着脱の様子をお伝えします♪



【靴下・帽子】

戸外へ出る前に、靴下→帽子の順で準備をしています。靴下は、渡すと自分で履こうと足に当てたり、大人が入り口を広げて持つと足を上げて近付けて入れようとする姿が見られています。脱ぐ際には、かかとまで下ろしてあげることで、自分で引っ張って脱げるようにしています。また、帽子も同様に、自分で持って被ろうとしたり、大人が持つと頭を近づける姿も出てきています。また、『被る』の動作を遊びながら獲得していけるよう、動作を促す玩具や遊びもクラスで行っています。



【上着・シャツ】

オムツ台に寝て着替える子は、寝かせると泣いたり寝返りをしようとしています。「ごろんするよ」「お着替えしようね」と、1つ1つの動作を言葉で伝えながら安心して着脱ができるよう心掛けています。また、オムツ台にモビールを設置したりわらべうたを歌うことで、落ち着いた雰囲気の中で行えるようにしています。座位が安定している子や歩行のできる子は、大人が上着を子どもの頭に被せ、自分で引っ張り、顔を出すことを促しています。「お顔見せてごらん」と声を掛け、出せた時には「ばあ」と分かりやすく伝えたり「お顔出せたね」「上手にできたね」と、たくさん褒めています。また、袖から腕を抜く際も、腕を触ったり、袖を引っ張りながら「腕あげるよ」と伝えながら行うことで、自分で着脱できる方法を知らせています。



【ズボン・オムツ】

ズボンやオムツを履く際には、子どもは椅子に座り、自分で足を入れやすいよう、大人がズボンの入口を広げます。靴下と同様に、子どもが自分で足を上げられるよう、焦らずゆっくり声を掛けながら見守っています。足を通した後は、子どもの手が届きやすいよう大人が膝の位置まで持ち上げ「引っ張ってごらん」と伝えながら自分で行えるように促しています。また、脱ぐ際には足元まで下ろすと、自分で足をあげて抜くことができる子も増えていきます。



子どもの成長に合わせながら、何度も繰り返し挑戦し、その都度たくさん褒めることで子どもの達成感や、やる気に繋がっていきます。上手くできなくても無理強いせず、やろうとする気持ちや意欲を大切に「頑張ったね」「上手だね」と、たくさん褒めてあげてください♪